

遺伝率の推定値

環境効果が大きければ遺伝率は小さな値として推定される

遺伝率が高ければ、高いもの同士を交配させれば「高い効果」が期待できる

形質	遺伝率(h ²)	
乳牛		
乳量	0.2 ~ 0.3	→ クローン家畜
脂肪率	0.4 ~ 0.8	
乳タンパク質含量	0.4 ~ 0.7	
妊娠期間	0.2 ~ 0.4	↗
ブタ		
増体重	0.1 ~ 0.3	
赤肉割合	0.14 ~ 0.76	
背脂肪厚	0.2 ~ 0.6	
飼料効率	0.15 ~ 0.6	
産子数	0.1 ~ 0.2	→ 雌雄の産み分け 胚の遺伝子診断 双子の生産

様々な生殖(繁殖)技術の開発と応用

より良い家畜を作り出すための技術開発

- 去勢
- 人工授精
- 体外受精・胚移植

ここまで技術が確立されると:

- 核移植
- 遺伝子導入
- クローン
- ES(幹)細胞
- iPS細胞 など